

普及現地情報

発信年月日：令和元年（2019年）12月18日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C19040
部門分類：610（担い手育成）
発信者名：丸山、市井、河村

創業100年老舗ワイナリーで“6次産業化”事例を視察

12月3日、指導農業士会甲賀支部県外視察研修が開催され、指導農業士、関係機関から合計15名が参加しました。当課は事務局として支援しました。視察先は、平成28年度6次産業化優良事例表彰において「農林水産大臣賞」を受賞されたカタシモワインフード株式会社（大阪府柏原市）です。

同社は、明治初期からブドウを栽培し、大正3年からワインを醸造、販売されています。全ての圃場で除草剤を使用せず、減農薬栽培に取り組まれています。また、圃場ごとの特徴を出すため、ブドウの搾りかす堆肥や天然由来のミネラルを用いた土づくりをされています。甲州ブドウの原種や樹齢100年を超える樹など「ここにしかない」ブドウから醸造されたワインを求め、海外からもお客様が訪れるそうです。

6次産業化で最も苦勞されているのは、消費者にどれだけインパクトを与えられるかということ。そのため、栽培へのこだわりに加え、消費者との一体感、連帯感が生まれるイベントを数多く開催されています。そのことが、自社でFB・SNSを使って発信するよりも、遥かに桁違いの集客につながっているとのこと。

参加された指導農業士の中には、農家レストランや6次産業化の取組を既に実践されている方もあり、今回の視察が今後の経営展開の糧になることを期待します。



ブドウ園で社長の話を聞く



ワインに合わせた料理をケータリングサービスにより提供されています